

インターネットがもたらす人類の発展

岡山城東高校

背景

SDGs17の目標の9番の目標『産業と技術革新の基盤をつくろう』に焦点を当てた。

産業や技術の発展にはインターネットが大きく影響している。

今までの発展を踏まえ、これからのインターネットがどのように進化していくか、またどんな影響を与えていくのか。



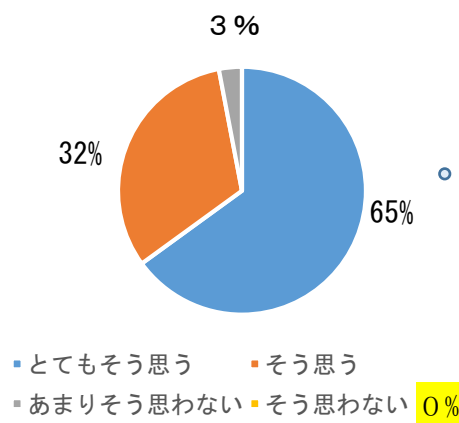
目的

- ・インターネットの有無による情報格差が国際間・個人間にどのような影響を及ぼしているのかを提示する。
→ 存在の大切さ、有難さの再確認・再認識
- ・インターネットの問題点を提示 → 解決策などを考え、インターネットへの意識を変えて問題の改善を図る。

現状

インターネットは人間にとっていいものか

(城東1年次68人によると)



本当にそうなの？

どんな良いことがあるの？

- ・インターネットはあらゆる情報がすぐに入手できたり、世界中の人とコミュニケーションをとったり、今の人類に欠かせない便利なものである。
- ・一方で、インターネットの有無による国際間の情報格差などの問題が絶えない。

- ・サイバー犯罪
- ・依存症等の健康被害
- ・情報格差
- ・匿名性を利用した悪質な犯罪
- ・SNS上でのトラブル（誹謗中傷等）

仮説

- ・インターネットは人間にとって良いものと断言できないのではないか。
- ・インターネットの有無や普及率の差による情報格差が世界中に経済面・環境面などに大きな影響を与えているのではないか。
- ・今後も技術的・環境的な差により、現在の情報格差や国・都市の発展の差が拡大していくのではないか。

調査するもの

- ・インターネットの利点・欠点
- ・インターネットに対する価値観
- ・身近に情報格差
- ・インターネットがない環境

調査手段

- ・インターネットでの情報収集
- ・アンケートを用いたインターネットへの意見調査
- ・本などの著書を用いた多様な視点からの意見収集

今後の展望

- ・先進国と発展途上国を比較し、インターネットの有無や情報格差は発展状況にどのような影響をあたえているのかを調査する。その結果を考慮してインターネットが本来持っている価値を理解してインターネットの使い方を考えていく。
- ・インターネットの持つ側面を批判的に読み取っていくことで表面に隠されている部分を見つけ出し、それに応じて解決策を考える。
- ・今後進化していくであろうインターネットがもたらす影響を予想し、向き合い方を考えて、現状の改善を図る。